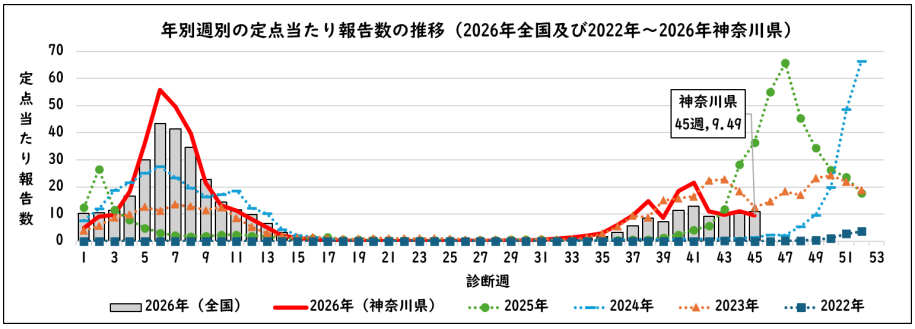
2026 年 11 月 19 日発行
神奈川県衛生研究所

神奈川県 インフルエンザ情報（13）45 週

神奈川県では、第 38 週（2026 年 9 月 14 日～9 月 20 日）にインフルエンザの定点当たり報告数が 14.71 となり、注意報レベル（定点当たり報告数 10.00）を超えました。第 45 週（2026 年 11 月 2 日～11 月 8 日）の定点当たり報告数は 9.49 でした。ここでは、県内の流行状況などについてご紹介します。

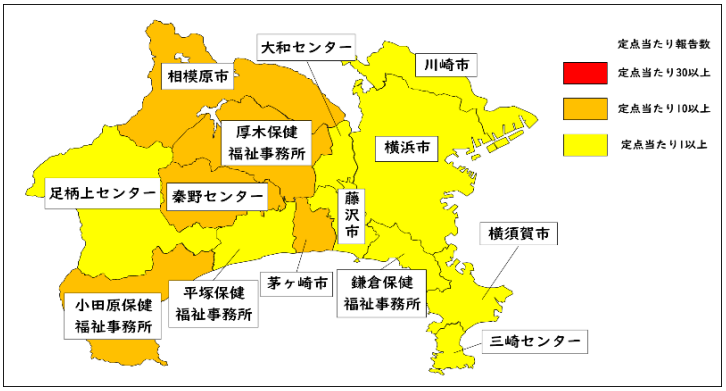


※年末年始やゴールデンウィーク、お盆、シルバーウィーク等では、定点当たり報告数が減少する可能性があります。

（1）県内の流行状況について

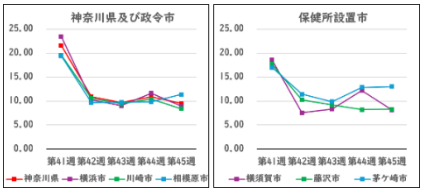
県内の流行状況について、地域別および年齢別に示します。

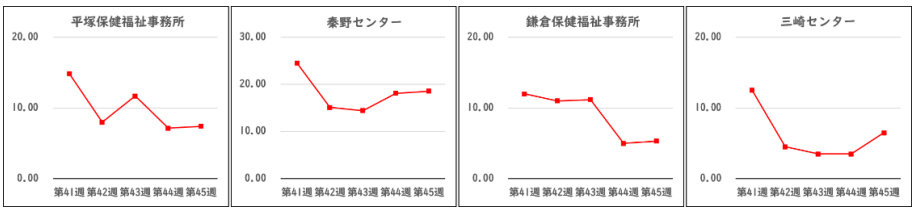
① 今週の地域別の流行状況 ※各機関の所管地域は表をご覧ください。

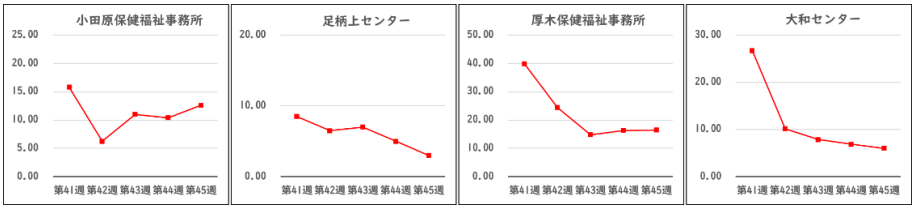


機関名	所管地域
茅ケ崎市保健所	茅ケ崎市・寒川町
平塚保健福祉事務所	平塚市・大磯町・二宮町
秦野センター	秦野市・伊勢原市
鎌倉保健福祉事務所	鎌倉市・逗子市・葉山町
三崎センター	三浦市
小田原保健福祉事務所	小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町
足柄上センター	南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町
厚木保健福祉事務所	厚木市・海老名市・座間市・愛川町・清川村
大和センター	大和市・綾瀬市

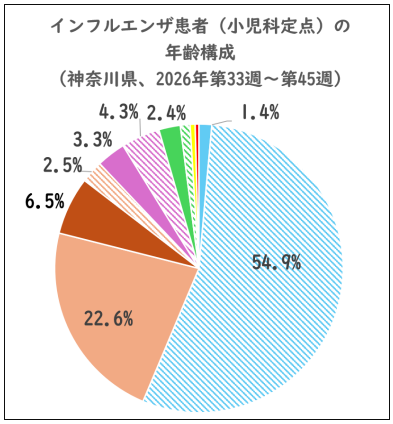
② 直近５週間の地域別の流行状況（全県及び政令市・保健所設置市・保健福祉事務所及びセンター）

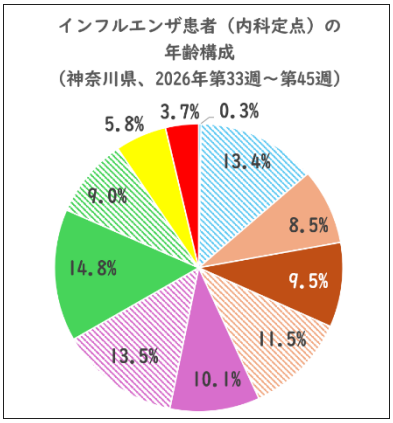






③　年齢別（今シーズンの累計割合）　※四捨五入等の端数処理により、円グラフの合計は 100%にならない場合があります。



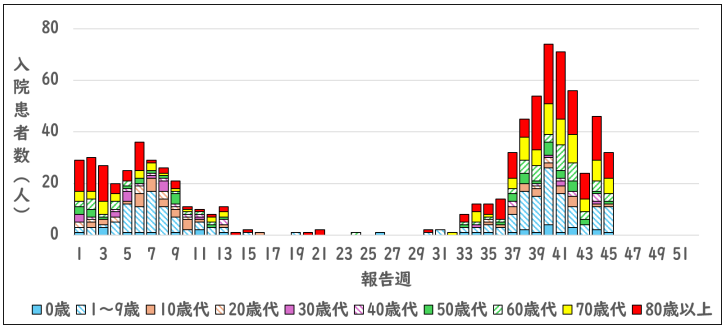




(2) 入院患者数※について

入院患者数は、第 45 週に 32 例の報告がありました。年齢の週別推移をお示します。

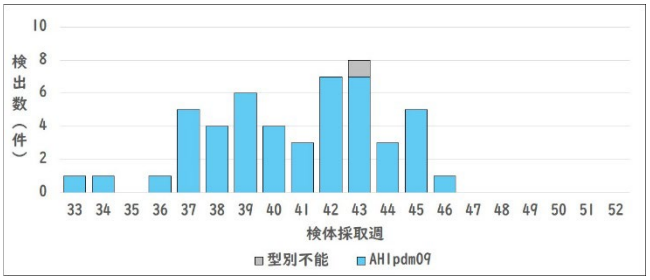
※入院患者数は、県内 12 か所の定点医療機関から毎週報告されています。



(3) 病原体サーベイランスについて（2026 年 11 月 17 日時点）

神奈川県衛生研究所では、医療機関の皆様に採取していただいた検体について病原体検査を実施し、現在流行している病原体の検出状況や特徴を監視（サーベイランス）しています。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス（ARI サーベイランスが始まりました！をご覧ください）におけるインフルエンザウイルス検出状況をグラフに示します。



インフルエンザについて

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスが原因となる感染症のことです。発熱や頭痛、咳などが主な症状になります。稀ですが、脳炎を伴うと高熱や意識障害、痙攣などが出現します。

主な感染経路として、インフルエンザウイルスに感染した人の咳やくしゃみからの感染（飛まつ感染）や、ウイルスが付いた手で口や鼻、目に触れることによる感染（接触感染）があります。

予防接種は発症や重症化を予防するのに効果的です。また、手洗いの際は、せっけんやハンドソープを使いましょう。アルコール（消毒用エタノールなど）も併用するとより効果的です。

以下に参考リンクをご紹介します（2026 年 11 月 17 日アクセス）。

- 厚生労働省：インフルエンザ（総合ページ）
- 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ
- 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）